

日本消防



●ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」
～放送開始から16年目に突入しました～

5
2023

口 絵 ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！
～16年目も頑張ります！～

巻頭言 「美しい県土の恵みが育む県民の貴重な生命・財産をこれからも守り継ぐために」	山梨県消防協会 代表理事副会長 佐藤 和正	1
令和4年度消防育英会奨学生の誌上交流会(冊子作成)について	(公財)消防育英会	3
日消の動き 機関誌「日本消防」これからもよろしく。	(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文	4
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」出演者紹介	(公財)日本消防協会	5
特別表彰「まとい」を受賞して「市民が安心して暮らせるまちへ」	宮城県 東松島市消防団 団長 櫻井 光悦	9
特別表彰「まとい」を受賞して「『我が町は我々で守る』団結と規律を心に」	秋田県 小坂町消防団 団長 澤口 紀夫	11
東西南北（愛知県）「日々進化する消防団を目指して」	日進市消防団 团長 水嶋 義弘	13
東西南北（福井県）「天空の城を守る消防団」	大野市消防団 团長 本多 義信	15
東西南北（島根県）「西ノ島町の安心安全を守るために」	西ノ島町消防団 团長 小島 一夫	17
東西南北（熊本県）「熊本地震から7年」	熊本市消防団 团長 山口 純一	19
シンフォニー（新潟県）「コロナ禍を乗り越えて」—柏崎市消防団女性消防隊の活動—	柏崎市消防団女性消防隊 隊員 近藤 由香里	21
消防団を中核とした地域防災力向上の推進	栃木県 鹿沼市消防本部・鹿沼市消防団	23
消防団幹部職章・消防団員章のご案内	(公財)日本消防協会	25
日本消防協会オリジナル商品	(公財)日本消防協会	29
2023年度全国統一防火標語・防火ポスターの発表	総務省消防庁 予防課	30
「第27回防災まちづくり大賞」受賞団体の決定	総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室	31
令和4年度防災功労者消防庁長官表彰式及び消防団等地域活動表彰式について	総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室	33
令和4年度優良少年消防クラブ・指導者表彰(フレンドシップ)の開催	総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室	35
令和4年度総務大臣感謝状(消防団関係)の贈呈団体の決定	総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室	38
消防団PRムービーコンテストの結果	総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室	39
消防団員のためのマイカー共済・保険をぜひ活用ください	総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室	40
e-カレッジによる防災・危機管理教育のお知らせ	総務省消防庁 防災課	41
令和5年度(第39回)防火ポスターコンクール図案募集のお知らせ	(生協)全日本消防人共済会	42
令和5年度(第23回)「防火防災に関する」作文コンクール作品募集のお知らせ	(生協)全日本消防人共済会	43
うちの名物団員	新潟県、山梨県、愛知県、島根県、広島県、熊本県	44
消防団の広場(広島県)「次世代とつながる消防団活動」	神石高原町消防団 团長 藤田 誠之	47

編集後記

表紙写真説明

「ジブリパーク エレベーター塔」(愛知県長久手市)

国内外で多くの人に親しまれてきたスタジオジブリ作品の世界観を表現した公園施設が、2022年11月1日「愛・地球博記念公園(モリコロパーク)」内に誕生しました。

ジブリパークは5つのエリアから構成され、2022年11月1日の第1期開園では「ジブリの大倉庫」「青春の丘」「どんどこ森」がオープンしました。2023年度には「もののけの里」「魔女の谷」が第2期開園予定です。写真のエレベーター塔は『天空の城ラピュタ』『ハウルの動く城』に代表される、19世紀末の空想科学的要素を取り入れたデザインが特徴的です。

ジブリパークのある愛知。ぜひ足を運んでみてください。

写真提供者：愛知県政策企画局ジブリパーク推進課

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 ～16年目も頑張ります！～ 好評放送中！ (公財)日本消防協会

(5頁～8頁に掲載)



令和5年
2月放送分に出演の
里崎智也さんと
ニッポン放送
ひろたアナウンサー

令和5年
3月放送分に出演の
高橋みなみさん



令和5年
4月放送分に出演の
徳光和夫さん

卷頭言

「美しい県土の恵みが育む県民の貴重な生命・財産をこれからも守り継ぐために」

山梨県消防協会 代表理事副会長 佐藤 和正



山梨県と静岡県にまたがる国内最高峰の富士山は有名ですが、標高第2位の北岳、第3位の間ノ岳もまた山梨県にあり、「ワンツースリー・フィニッシュ」の美しい山岳景観を仰ぎ見ながら、県内の多くの消防団員が日夜を問わず消防・防災活動に勤しんでいます。

また、県土面積の八割近くを占める豊かな森林の恵みにより、南アルプス山麓や富士北麓で採水されたミネラルウォーターの生産量が日本一に加え、甲府盆地周辺部の扇状地や斜面などの水はけのよい果樹地帯は、やはり生産量日本一を誇る桃、スマモ、ブドウなど、豊かな果実の恵みをもたらしてきました。

その一方で、急峻な山岳地形は、日本三大急流の富士川等に流れ込むにあたり、これまでも幾度となく大きな土砂災害や水害をもたらし、また林野火災も数多く発生し、県内の消防団員は、長い歴史の中で、これらの数多くの災害と戦ってきました。

「環境が人を育てる」との言葉どおり、急峻な地形がもたらす度重なる水害は、戦国時代の甲州で激流を制するために立ち上がった武田信玄が、「信玄堤」、「将棋頭」、「石積出し」などの土木技術と、それらのインフラを維持管理する人的組織である「川除衆」などの優れた治水システムを生み出し、江戸時代には「甲

州川除術」として紹介され、全国に奨励されたほどで、これらの偉業は今もなお県民に語り継がれ、「信玄公」と慕われています。

また、「六甲おろし」や「赤城おろし」などの強風は全国的に有名ですが、本県でも、西高東低の冬型の気圧配置の時に、日本海側から八ヶ岳を越えて甲府盆地に吹き下ろす「八ヶ岳おろし」は、古来より冬の甲府盆地に多くの火災をもたらしてきました。

大正4年に甲府盆地の池田村（現在の甲府市池田地区）の消防組頭に就任した小宮山清三は、のちに山梨県消防協会や大日本消防協会といった消防普及の組織の設立に関わり、本県やわが国の消防の近代化に尽力しました。

小宮山は消防についての講演を数多くこなし、また消防協会の論考や「消防道要領」といった著書では、自らの信条である「護郷立国」の考えに基づき、消防を単なる専門職としての「火消し」ではなく、火災をはじめとする災害を予防して郷土を保全する自治的性格の任務として位置付けています。

小宮山はこうした消防思想や消防技術の普及に努めるなかで特に講演活動に力を入れたとされ、山梨県にとどまらず全国各地をめぐり、消防への熱意とユーモアが込められた講演には、多くの聴衆が集まつたと

されています。

後半生を消防の普及にささげた小宮山に対し、当時の人々は彼を「消防の父」と称し、没した際には日本で最初の「消防葬」が甲府の舞鶴城公園で執り行われ、「消防の父」の逝去を悼む1万人余りの人々に見送られたとされています。

大正12年に刊行された小宮山の著書「消防道要領」は、「国立国会図書館デジタルコレクション」に収録され、インターネットで無料で閲覧できますので、ご一読ください。

さて、本県の令和4年4月1日現在の消防団員は14,059人で、人口10万人当たりの消防団員数では全国で上位から5本の指に数えられます。

これは、沢筋ごとに集落があり、いったん災害が発生すると、交通インフラが未整備な時代には他地域からの迅速な応援が期待できず、まさに「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神が受け継がれてきたものと思われます。

また、本県において、庶民金融の原型である「無尽」が広く行われてきたことなど、相互扶助の精神が根強く息づいてきたことも一因と言えるでしょう。

しかし、少子高齢化はもとより、就業構造の大きな変化による消防団員の被雇用者率の上昇や、通勤圏・生活圏の広域化などにより、県内の消防団員の数は今なお減少傾向にあります。

その一方で本県は、急峻な地形等がもたらす土砂災害や水害はもとより、切迫性が指摘される南海トラフ地震（東海地震）や断層型地

震などの大規模地震に加え、富士山噴火などの大規模災害の発生が想定されており、さらに9年前には未曾有の雪害を経験したことでも記憶に新しいところです。

こうした大規模災害の発生時に、人命救助などに極めて重要な役割を担い、大きな動員力と即時対応力を持つ消防団員の確保は、本県にとって大きな課題であります。

このため山梨県では、機能別団員制度の活用などをテーマとした検討会の開催に加え、団員の待遇改善や広報の強化などに取り組んできましたが、当協会でも県や市町村と連携して、団員確保のためのモデル事業を行う市町村への助成や、女性団員活用のための県内外の先進事例等を紹介する講演会などを開催してまいりました。

新型コロナウィルス感染症の拡大の影響により、これらの普及啓発活動が大きな制約を受けたのは残念でしたが、政府の同感染症の5類移行の動きも踏まえ、今後とも県や市町村と連携して、団員確保の取組みを進めてまいりたいと考えております。

甲斐の国で洪水との戦いに生涯を捧げた信玄公や、近代消防の確立に尽力した小宮山清三など、山梨の先人たちが育んできた地域防災への想いを全消防団員が胸に刻み、誇りをもって日々の活動に取り組めるよう、今後とも日本消防協会のご指導のもと、一歩ずつ着実に、その歩みを決して止めることなく、県内のすべての消防団員が一丸となって進んでまいります。

令和4年度消防育英会奨学生の誌上交流会(冊子作成)について

(公財)消防育英会

1 趣旨

消防育英会では、奨学生が相互に交流し、充実した学校生活や将来の夢を語り合う機会を設け、健全な成長を支援するため、毎年夏休みに、奨学生と保護者の参加により、東日本と西日本の2つのブロックに分かれて交互に東京に集まって頂き、奨学生懇談会を開催しております。

新型コロナウイルス感染症により令和2年、3年及び4年は残念ながら懇談会が実施できませんでしたので、令和3年度及び4年度は奨学生の皆さんに文章を書いて頂き、誌上交流会として冊子を作成しました。

令和4年度は東日本ブロックを対象に作品を募集し、東日本大震災に係る奨学生18名の皆さんからも文章を頂いております。



2 令和4年度のテーマ

タイトル～「みなさんお元気に、一層広いお友達の輪を。」

将来の夢、今頑張っている事、学校生活、楽しかったことなど

3 提出者数

34名【募集期間：令和4年10月19日～令和4年12月5日】

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
大学・専門学生	4名	2名	3名	3名	－	－	12名
高校生	3名	5名	1名	－	－	－	9名
中学生	2名	4名	1名	－	－	－	7名
小学生	－	－	1名	1名	3名	1名	6名
東日本ブロック	北海道、岩手県、宮城県、秋田県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、新潟県、長野県、岐阜県、静岡県						

～公益財団法人 消防育英会について～

消防育英会は、国民が消防活動に従事し、又は協力したため災害を受けて死亡し、又は障害を負われた、いわゆる一般協力者及び公務上の災害により死亡し、又は障害を負われた消防団員又は消防職員の子弟に対して、学校生活に必要な奨学金や入学一時金の給付などの支援を行うべく、昭和42年9月に設立されました。

令和5年3月1日現在、小学1年生から大学(専門学校等含む)卒業までの165人のご子弟が奨学生として支援を受けています。



消防育英会HP
QRコード

<https://shobo-ikueikai.or.jp/>

機関誌「日本消防」これからもよろしく。

(公財)日本消防協会 会長 秋本敏文

明治36年設立の大日本消防協会時代は「大日本消防協会雑誌」がありまして、実は伊藤博文さんの「奉公」という文字の額をある方から頂きました時に、真物かななどと話し合ったのですが、明治38年のこの「雑誌」に伊藤博文さんから頂いたという記事とこの文字の写真が掲載されていることを発見しまして、まちがいなく真物だと喜んだことがあります。

今は、このお手元の「日本消防」が当協会機関誌です。発刊以来、通算何百号かと思うのですが、正確な数字は手元にありません。それはともかく、これは、日本消防協会の活動報告としての機関誌であるだけでなく、全国の消防団の皆さんのお活動ぶりをご覧頂く貴重な情報誌です。

実は、私が理事長として着任した頃、もう20年も前ですが、その頃の「日本消防」は率直に申しますと、黒っぽいザラ紙に不鮮明な印刷文字が並ぶという感じの印刷物でした。これを編集担当の皆さんには大変なご苦労をしていただいて、数年がかりで今日のような明るくて、内容も豊富なものにしてきました。がんばってくれた担当者への感謝は勿論ですが、現在の「日本消防」は、全国の消防団の皆さん、各都道府県消防協会の皆さんのご協力がなければ発行できません。ありがとうございます。

毎月のさまざまな表紙は、日本の美しさ、歴史等を感じさせられますが、各県、各地の具体的なお取組の文章を拝見しますと、参考になることが多く、感心したり、負けずにがんばろうと思わせられます。最後の方の「名物団員」には、消防団活動はもとより、いろいろな活動で地域のためにがんばっているお姿が紹介され、団員の皆さんのがんばりを感じられますね。

このような「日本消防」が、全国の消防団員の皆さんなど地域の防災体制を担う皆さんのお役に立ち、地域防災力の一層の充実強化に貢献することができるようになりますには、さらに、これからどうするかなあと思わず考えてしまいます。

基本的には、消防団活動のお役に立つさまざまな情報、国や全国各地の、時には海外まで含めた災害体験や政策的な動向を皆さんにお伝えしなければならないのでしょうか、その具体的な内容は、本当にさまざまです。そして、日本消防協会の他の情報活動はもとより、他の団体、機関による情報活動との役割分担も考慮しながら、一層の充実に努力しなければならないでしょう。

全国の読者の皆さん、消防団関係の皆さん、ご意見ご感想がございましたらお寄せ頂きながら、そしてこれからも編集についてのご協力をいただきながら、より良い、より一層お役に立てるよう努力してまいります。

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、令和5年2月から令和5年4月までに放送した出演者を紹介します。

なお、放送した番組は、出演者からのメッセージが揃い次第、随時日本消防協会のホームページで聴くことができます。



令和5年2月放送分に
出演の消防応援団
里崎智也さん

2月4日又は5日放送



北海道
訓子府消防団
分団長
齋藤 麗紗さん

緊張するかと思いましたが、お二方ともとても話しやすく、とても楽しかったです！
貴重な経験をありがとうございました。

2月11日又は12日放送



群馬県
嬬恋消防団
団長
熊川 美朗さん

人口減少の中で団員不足の課題を、この番組を通じて頑張っている消防団員の姿を伝えていってもらいたいと思っています。
ありがとうございました。

2月18日又は19日放送



香川県
直島町消防団
班長
大山 貴史さん

これからも町民の皆さんの生命、財産を守る為に日頃から訓練して頑張りたいと思います。

2月25日又は26日放送



滋賀県
野洲市消防団
副団長
山本 明さん

収録時には、里崎さん、ひろたさんが和やかに進行していただきめちゃ助かりました。私は人と繋がりが大切であると考える中、今回、声だけでしたが貴重な出会いと経験が出来た事に感謝しております。



令和5年3月放送分に
出演の消防応援団
高橋みなみさん

3月4日又は5日放送



奈良県
五條市消防団
団長
櫻井 利文さん

五條市消防団を多くの方々に紹介する機会をいただきありがとうございました。今回の放送を通して、消防団の重要性が一人でも多くの方に伝わればと思います。

これからも地域防災の要として、活動に取り組んでいきたいと思います。

3月11日又は12日放送



福島県
福島市消防団第8分団杉妻
班長
尾形 宜宏さん

貴重な体験で緊張しましたが、全国に消防団の良き理解者が大勢おられることにとても勇気づけられました。

これからも特に若い方々に消防団活動をもっと知つてもらえるように活動していきたいと思います。ありがとうございます。

3月18日又は19日放送



福井県
永平寺町消防団
団員
丸木 裕美さん

この度は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。福祉避難所や減災ナースという存在を少しでも多くの方に知つていただき、興味を持っていただけたら嬉しいです。

これからも訓練を重ねて、災害に強い町づくりのためがんばっていきたいと思います。

3月25日又は26日放送



鹿児島県
中種子町消防団中央分団
班長
松崎 利彦さん

この度、以前より聞いていたラジオ番組にまさか自分が出演するなど思つてもいませんでした。ましてや高橋みなみさんとのトークなんて一生の思い出です。

からの消防団活動の励みになりました。

今後も、地域住民のためにできることを一生懸命取り組んでいきたいと思います。



令和5年4月放送分に
出演の消防応援団
徳光和夫さん

4月8日又は9日放送



福岡県
新宮町消防団
団員
福田 夢彦さん

新宮町や所属消防団の話を出来る機会を頂き、ありがとうございました。今回のお話が、少しでも全国の消防団の士気高揚に繋がれば幸いです。

私も消防操法大会だけでなく、住民に近い存在である消防団が、地域防災にもっと貢献出来ることは何かということを考え直す良い経験となりました。

4月15日又は16日放送



神奈川県
茅ヶ崎市消防団
団長
市川 隆雄さん

この度は、地元茅ヶ崎市出身の徳光和夫さんとラジオ対談という貴重な体験をさせていただきましてありがとうございました。

放送を聴いていただいて、多くの方が消防団に関心を持つていただけたら幸いです。

4月22日又は23日放送



長野県
諏訪市消防団
女性団員
内藤 愛さん

徳光さんはさすがが司会者というだけあって穏やかに話してくださいとても楽しい時間でした。まだまだ女性団員の数は多くありませんが広報活動を通じて消防団の仲間が一人でも増えたら嬉しく思います。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

4月29日又は30日放送



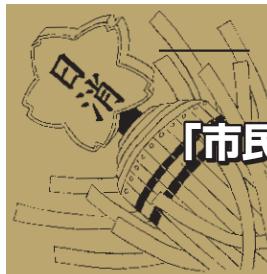
宮城県
丸森町消防団
団員
船山 俊一さん

消防団の様々な活動状況等が、毎週全国に紹介されることにより、地域住民の防災意識の向上と消防団の周知・啓蒙啓発に繋がっていることを実感いたしました。また徳光和夫さんの温かい人柄にも触れることができ、充実感に満ちたラジオ放送でした。

今後も団員が団結し、地域防災に尽力して参ります。

「おはよう！ニッポン全国消防団」放送日時

地方	県	放送局	放送日	放送時間	備考
北海道	(株) S T V ラジオ	日	5:50~6:00		
東北	青森	青森放送(株)	日	7:20~7:30	
	岩手	(株) I B C 岩手放送	日	6:15~6:25	
	宮城	東北放送(株)	土	5:00~5:10	
	秋田	秋田放送(株)	日	6:15~6:25	
	山形	山形放送(株)	日	6:20~6:30	
	福島	(株) ラジオ福島	土	5:40~5:50	
	新潟	(株) 新潟放送	日	7:40~7:50	
関東	東京	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	神奈川	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	埼玉	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	群馬	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	千葉	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	茨城	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	栃木	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	山梨	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	長野	信越放送(株)	日	6:50~7:00	
中部	福井	福井放送(株)	日	6:10~6:20	
	石川	北陸放送(株)	日	7:35~7:45	
	富山	北日本放送(株)	日	6:10~6:20	
	三重	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	愛知	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	静岡	東海ラジオ放送(株)・ニッポン放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:15~6:25	一部地域は東海ラジオ放送
	岐阜	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
近畿	京都	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	大阪	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	兵庫	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	奈良	(株) 和歌山放送・大阪放送(株)	土・日	6:30~6:40 6:00~6:10	一部地域は大阪放送
	滋賀	東海ラジオ放送(株)・大阪放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:00~6:10	一部地域は東海ラジオ放送
	和歌山	(株) 和歌山放送	土	6:30~6:40	
中国	鳥取	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	島根	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	岡山	西日本放送(株)・(株) 中国放送	土・日	7:35~7:45 5:30~5:40	一部聞きづらい地域があります。 一部地域は中国放送
	広島	(株) 中国放送	日	5:30~5:40	
	山口	山口放送(株)	土	6:50~7:00	
四国	徳島	四国放送(株)	土	6:40~6:50	
	香川	西日本放送(株)	土	7:35~7:45	
	愛媛	南海放送(株)	日	6:55~7:05	
	高知	(株) 高知放送	日	6:40~6:50	
九州	長崎	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	福岡	九州朝日放送(株)	日	6:15~6:25	
	大分	(株) 大分放送	日	6:45~6:55	
	佐賀	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	熊本	(株) 熊本放送	土	6:50~7:00	
	宮崎	(株) 宮崎放送	日	6:20~6:30	
	鹿児島	(株) 南日本放送	土	8:30~8:40	
	沖縄	(株) ラジオ沖縄	日	6:35~6:45	



特別表彰「まとい」を受賞して

「市民が安心して暮らせるまちへ」

宮城県 東松島市消防団 団長 櫻井 光悦



1 はじめに

はじめに、2011年(平成23年)3月11日に発生しました東日本大震災の折には、全国からたくさんのご支援、ご尽力いただいたことに対し、深く感謝申し上げます。

この度、我々東松島市消防団は令和5年3月3日にニッショーホールで開催されました「第75回日本消防協会定例表彰式」におきまして、念願であった最高栄誉である特別表彰「まとい」を受賞いたしました。

全国約2,200ある消防団の中から功績を認められた消防団だけが授与される栄誉ある特別表彰「まとい」を受賞できたことは、東松島市消防団関係者にとって大きな喜びと誇りになりました。

これもひとえに、郷土愛護の精神に基づき市民の生命、財産を守るために全力を尽くしてきた諸先輩方、消防団活動にご理解とご協力をいただきました消防団員のご家族や勤務先をはじめ、関係各位の並々ならぬ努力の賜物であり、改めて心から敬意と感謝を申し上げます。

2 東松島市の紹介

東松島市は宮城県の県都仙台市の北東にあり、広域石巻圏の西端に位置することから、広域仙台都市圏とも隣接し、東は石巻市、南は太平洋に面しています。人口は約3万9千人、市の面積は101.30km²、気候は年平均気温や降水量からみても、東北としては比較的暖かく風雨の少ない地域となっています。市域の東部は肥沃な田園が広がる平坦な地形、中央部には四方を一望できる桜の名所「滝山」を中心とする丘陵地、西部は、一級河川鳴瀬川・

吉田川が太平洋に注ぐとともに、南西部には風光明媚な日本三景「特別名勝松島」を有し、変化に富んだ四季折々の美しい自然景観を有しています。

また、コロナ禍で心配されながらも開催された東京2020オリンピック・パラリンピックでは、そのオリンピック・パラリンピック聖火が日本に最初に到着したのが、「宮城県東松島市」に所在する航空自衛隊松島基地です。松島基地には、開会式の日に、東京上空にスモークで五輪を描いたブルーインパルスが所属しています。また、市内上空では日常的に飛行訓練が行われており、基地周辺でタイミングが合えば、大空に描かれる「スモークアート」に出会うことができます。



航空自衛隊松島基地航空祭でのスモークアート

3 東松島市消防団の紹介

東松島市消防団は、平成17年4月1日に旧矢本町と旧鳴瀬町が合併し、東松島市が誕生したことに伴い誕生しました。令和5年3月1日現在604名の団員が在籍し、消防ポンプ自動車1台、可搬ポンプ積載車30台を所有し活動しています。

また、市内16か所の事業所を消防団協力事業所として認定し、平時は予防広報

活動に取り組み、災害時には地元の企業と連携して活動する仕組みが整備されています。

東松島市消防団の操法大会の記録いたしましては、旧町時代を含めますと県大会で5度の総合優勝、更には、昭和45年に開催された全国大会において優勝、平成2年、平成14年には入賞するなど、輝かしい成績を収めています。

4 東松島市消防団の活動

東松島市消防団では、「予防に勝る消防なし」を念頭に、予防活動に注力しています。その活動の一つとして婦人防火クラブと連携し、各世帯訪問を行いながら、子どもからお年寄りまで、広く声を掛けて火災予防広報をしています。先ほど紹介しましたが、一級河川を抱え、太平洋に面した東松島市は、河川の氾濫への対策など、水防団活動にも積極的に取り組んでいます。定期的に、水防に関する技術の向上を目的とした水防訓練を実施しています。

また、昨今話題となっている新入団員への取り組みとして、年に一度「初任団員講習会」を行い、消防職員から直接消防団員の基礎を教わる機会を設けています。



婦人防火クラブ・消防団協力事業所と連携した火災予防運動



機械器具講習会

2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災では、発災直後から避難を促していた活動中の消防団員8名が殉職しました。また、消防団活動の足となる可搬ポンプ積載車8台、消防ポンプ車2台、活動拠点となるポンプ置場や詰所8棟(流出4棟、全壊2棟、一部損壊2棟)が被災しました。家を失い、家族の安否も不明になった消防団員がいる中で、市民の尊い生命と財産を守るために、人命救助や遺体収容、行方不明者の捜索等に延べ7,811人の団員が出動しました。

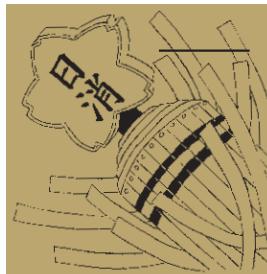
東日本大震災での諸活動を教訓とし、消防団が活動する火災、地震・津波、風水害と災害ごとに安全に団員活動を行うための「東松島市消防団安全管理マニュアル」を作成し、2013年(平成25年)4月から運用を開始しました。



東日本大震災時の行方不明者捜索活動

5 終わりに

この度の受賞にあたり、格別なるご高配を賜りました日本消防協会、宮城県消防協会をはじめ、東松島市消防団を日々支えていただいている皆様に深く感謝を申し上げます。特別表彰「まとい」という栄誉ある受賞を誇りに、東松島市消防団は市民の生命・財産を守るために、これからも一丸となり消防団活動に邁進してまいります。



特別表彰「まとい」を受賞して

「「我が町は我々で守る」 団結と規律を心に」

秋田県 小坂町消防団 団長 澤口 紀夫



1 はじめに

小坂町消防団は令和5年3月3日、ニッショーホールで開催された第75回日本消防協会定例表彰式において、消防団にとって最高栄誉である特別表彰「まとい」を受賞いたしました。全国に数ある消防団の中から栄誉ある表彰を受賞できましたことは、この上ない喜びと名誉でありますが、改めて先輩団員が永年勤め上げてきた小坂町消防団の重責を再認識したところであります。この「まとい」は、小坂町役場町民ホールに展示し来庁する町民に広く紹介し、火災予防の啓発と消防団の活動や歴史を後世に伝承してまいります。この度の受賞は、団結と規律を心に団員個々の強い使命感、昼夜間わず従事してきた功績が認められたものであり、これまでの消防団活動に御理解と御協力、更に御支援を賜りました御家族、町民、事業所、消防関係者などすべての方々に深く感謝申し上げます。

2 小坂町の紹介

小坂町は人口4,600人余りの秋田県北東部に位置する小さな町です。江戸末期に発見された小坂鉱山の企業城下町として発展し、大正初期には秋田市に次ぐ秋田県下第二の町として栄華を誇りました。町中心部には豪華絢爛な鉱山関連の産業遺産群が点在していて、その代表格が1910年(明治43年)建築の国重要文化財「明治の芝居小屋 康楽館」です。100年の時を超えた現在も一年を通じて常打芝居が上演されるなど多くの観光客を魅了しています。また、国立公園十和田湖は、湖

面の約半分が小坂町域であり新緑や紅葉など四季折々に美しい姿で多くの観光客を迎えていきます。

3 小坂町消防団の沿革

小坂町消防団は、明治42年に小坂町消防組として2部制95名で発足し、警防団を経て昭和30年旧小坂町と旧七滝村の町村合併をもって現在の小坂町消防団となりました。その後昭和39年には消防団に常備部を設置し、24時間体制で町の消防・防災業務に従事してきましたが、平成6年に鹿角市との鹿角広域行政組合消防本部発足により常備部は消防署に移管しております。現在は5個分団で団員定数は150名で構成され、消防ポンプ自動車3台、小型動力ポンプ積載車16台、災害活動車1台を保有している状況です。平成29年から初めてとなる女性消防団員2名が入団し、今後の展開と活躍に期待しているところです。

4 消防団活動

小坂町消防団は有事の際の出動はもとより、消防署と連携しながら火災予防運動期間中の火災想定訓練(駆付訓練)や消防機器の基本操作訓練、更に各種災害に対応する技術の習得など日々研鑽を積んできました。また、消防団の活動根源ともいえる火災予防に対する広報活動には特に注力し、全団員がそれぞれの管轄地域で高い意識を持ち啓発活動を展開してきました。消防訓練大会に関してはコロナ禍により2年間開催を見送りましたが、令和4年度は3年ぶりに第60回を数える

大会を実施することができ、消防団員のハツラツとした操法を目の当たりにし感動したところです。これからも消防団員としての士気高揚と技術向上、5個分団相互の協力体制強化を図ることを目的に、小坂町消防団の伝統としてこの訓練大会は継続していかなければならないものと考えています。



消防訓練大会

また、平成28年度には日本消防協会から消防団防災学習・災害活動車の寄贈を受け、防災訓練や火災想定訓練をはじめ、国重要文化財「康楽館」周辺での文化財防火デー等で活用させていただいている。災害活動用資機材は、防災訓練や火災想定訓練時に救助訓練を行い、全団員の技能習得を目指していますし、防災学習資機材は、保育所や学校のほか、高齢者施設、事業所、自治会等の防災訓練に使用され、町民の防災意識の醸成に幅広く活用されています。更に令和3年度から全団員が救命講習の受講を目標に掲げ、地域防災の要として寄り添った活動ができるよう取り組んでいる状況です。



消防団防災学習・災害活動車

5 むすびに

全国的な課題として、少子高齢化や地域の過疎化、社会環境の変化により消防団員の担い手や確保が厳しい状況下にあり、小坂町消防団も例に漏れず団員数の減少が懸念されています。しかしながら災害は多様化し、更に激甚化しています。今まで経験したことのない大規模災害の発生が全国各地から報道されています。それに伴い火災以外の出動や警戒が増加している状況にあり消防団員の必要性が重視されています。いつ、どの程度の災害が発生するか計り知れない中でも、全団員一丸となって『我が町は我々で守る』の信念と団結と規律を心に、常に備えある消防態勢を堅持し、不測の災害に備えるため一層努力してまいります。

最後になりますが、この度の「まとい」受賞にあたり格別の御高配を賜りました日本消防協会をはじめ、御支援いただいた秋田県消防協会ならびに消防関係者各位に厚く御礼を申し上げますとともに、益々の発展を御祈念申し上げまして受賞の挨拶といたします。



消防出初式



水防訓練



「日々進化する 消防団を目指して」

日進市消防団 団長 水嶋 義弘



1 日進市の紹介

日進市は、愛知県のほぼ中央部である尾張と三河の境に位置する、人口約94,000人、面積34.91平方キロメートルのまちです。

名古屋市と豊田市という東海地方を代表する経済都市に隣接する地理条件から住宅都市として発展する一方、大都市近郊にありながら、市内には里山や田畠の緑、河川やため池の水辺、東海地方に特有な湿地等、生活に潤いとやすらぎを与えてくれる自然環境が残っています。特に市の中央部を流れる天白川の源流である東部丘陵地には、希少生物を始めとする多様な野生動植物が生息しています。

また、市内には、愛知学院大学、栢山女学園大学、名古屋商科大学、名古屋学芸大学、名古屋外国語大学の5つの大学が立地しており、学園都市としても発展してきました。

そのため、全国的に人口減少社会に移行した今日においても、暮らしやすいまちとして人口増加が続いている。市では、さらなる発展のため、また高齢化社会に備え、地域の生活基盤を支える公共交通として自動運転バスやデマンドタクシーの実証実験を実施しており、コミュニティバス「くるりんばす」等の既存の交通手段と組み合わせた新たな公共交通網の確立、将来にわたり安心して住み続けられるまちの実現を目指しています。

2 消防団の紹介

日進市消防団は、団長以下239名(令和5年1月1日現在)の団員、14の分団で構成されており、各分団には小型動力ポンプ付積載車を配備し、市民の安全安心のために活動しております。

また、令和5年度から新たに本部付の女性消防団員を設定することにより、災害時の応急手当や避難所運営等の後方支援、平常時の防火防災啓発活動など、消防団の機能維持、強化を図ります。さらに、同年度中に市内大学の学生で構成する機能別消防団員制度を導入し、多種多様なニーズに応えられる消防団組織の構築に取り組んでまいります。

3 消防団の活動

4月の消防団辞令交付式後、各分団は5月下旬に開催する日進市消防操法大会に向けて訓練を開始します。市操法大会で優勝した分団が県消防操法大会に出場するため、消防署員の指導のもと各分団は切磋琢磨し技術を高めます。新型コロナウイルス感染症の影響から3年ぶりの開催となった第67回愛知県消防操法大会では、日頃の訓練の成果を発揮し、小型ポンプ操法の部で準優勝の成績を収めました。6月の水防工法訓練では、土のうの作成から積土のう工法や釜段工法などの基礎を学ぶほか、チェーンソーを使用



消防操法大会開会式



水防工法訓練

しての倒木に見立てた丸太伐採など、災害発生を想定した訓練を実施しております。9月には日進市の4大まつりの一つ「にっしん夢まつり」における花火の警戒警備、以降、秋・春の火災予防運動期間及び年末年始には市内の巡回広報を実施します。翌年1月には消防出初式を開催し、全団員が一堂に会して防火への士気を高めます。

その他、市主催の避難所開設運営訓練への参加を始め、街頭消火設備の点検、お祭りやイベントの警戒警備、防災訓練への参加など、地域に密着した活動を実施しています。また、毎年、尾三消防本部と合同で大規模災害訓練、文化財防火デーに伴う訓練、林野火災訓練を実施することにより、消防署との連携強化を図るとともに、署員の方から知識や技術等を教授いただき、団員一人一人のスキ



文化財防火デーに伴う訓練

ルアップに繋げています。

これらの訓練を重ね、火災発生時における消防署の消火活動では、車両の誘導や水利の確保・消防隊への中継送水、火災鎮火後の再燃防止の確認等の後方支援を的確に実施します。

4 おわりに

全国的に問題となっている消防団員数の減少、平均年齢の上昇について、本市においても一部の分団で顕著化しつつあります。幸いにも、日進市ではこれまで大きな災害に直面していませんが、南海トラフ地震を始めとする大規模災害の発生に備えるには、地域防災力の要となる消防団の充実強化が必要不可欠です。今後も、消防団活動の重要性や必要性を積極的に周知、広報することで地域や市民の理解、協力を得ることに努め、先に述べた女性消防団員や学生機能別消防団員の導入等により、団員の確保及び組織の活性化を図り、課題に取り組んでまいります。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という使命感を忘れず、市民に愛され、頼りにされる消防団であり続けられるよう、これからも訓練や地域活動に励み、日々進化する消防団を目指します。



「天空の城を守る 消防団」

大野市消防団 団長 本多 義信



1 大野市の紹介

大野市は、福井県東部に位置し、北は石川県白山市と勝山市、東と南は岐阜県に、西は福井市、池田町と接し、四国を靈峰白山の支脈に囲まれた盆地からなり、豊かな自然、山紫水明の恵まれた環境にある街です。

市域は872.43平方キロメートルの面積を有し、人口は約3万1千人を擁しています。面積は、県全体の20.8%で、県内最大となっています。うち森林が約8割を占めており、この森林がもたらす「水」と「空気」は本市の貴重な財産となっており、環境省の「名水百選」と全国星空継続観察において「日本一美しい星空」に選ばれ、本市の大きな魅力となっています。大野市は北陸の小京都と称され、市の中心にある亀山（標高：249m）にそびえる越前大野城の麓には碁盤目状の城下町が広がっています。また、盆地地形の大野市は秋口に雲海が発生しやすく、この城下町が雲海に包まれると、亀山と大野城だけが、まるで雲の上に浮かんで見える「天空の城



雲海に浮かぶ「天空の城 越前大野城」

越前大野城」が現れます。城下町一面を覆い尽くす分厚い雲海は、山からのぼった朝日に照らされる大野城を幻想的な姿に映し出してくれます。

2 大野市消防団の紹介

大野市消防団は、第1分団から第9分団及び結の故郷女性分団と機能別消防団員で構成され、455名（令和5年4月1日現在、うち女性団員90名）の団員が在籍しています。また、消防団車両として、団指揮車1台、団活動車1台、消防ポンプ車10台、小型動力ポンプ付積載車20台を有し、火災予防啓発活動、管轄地域の夜間パトロール等を行い、災害出場以外にも日頃から大野市民の安全安心を守るために活動しています。

3 大野市消防団の活動

消防訓練は、大火の歴史を後世に語り継ぐため、4月8日を「大野大火記念日」として、団車両による管内一斉警戒巡回と消防総合訓練を毎年実施しています。また、住宅等が密集する市街地と集落が点在している村部を有する本市の特徴を踏まえ、消防操法を基本とした実災害対応訓練を積極的に実施するほか、地域の自主防災組織が行う訓練に団員が訓練指導員として参加し、消防団と地域住民とが連携した訓練を行っています。村部の建物火災等では消防署から出場する消防



大野市消防総合訓練 一斉放水

自動車の到着に時間要するため、消防団員一人ひとりが地域防災の要であることを自覚し、地域住民と顔の見える関係を築くことで地域全体の防災意識の向上を図っています。

消防団員教育では教育動画をSNS上で公開し、いつでも・どこでも学べる環境を整備しました。団員からは繰り返し学習できると好評であり、今後は教育内容の拡充を図っていきます。

消防操法訓練では、新型コロナウイルス感染症が猛威を振い、例年のように十分な活動が行えない中、団員それぞれが感染対策を講じて訓練に励んできました。限られた時間の中で着実に力を付け、本市を代表して出場した第6分団が福井県消防操法大会で優勝を果たし、第29回全国消防操法大会小型ポンプ操法の部に出



団員教育 訓練風景

場することができました。全国大会ではこれまでの訓練の成果を遺憾なく発揮し、7位入賞という結果を残すことができました。

4 おわりに

近年、全国各地で地震、風水害等の大規模な自然災害が続発し、住民の安全安心を脅かす事態となっています。いつ起るか分からぬ様々な災害に対し、地域防災の中核を担う消防団の役割や消防団に対する期待は益々大きくなっています。しかしながら、急速な人口減少に比例し、全国的に団員の担い手不足が深刻な問題となっており、当市消防団においても、団員の高齢化や後継者の確保が難しくなってきています。これらの課題に対応するため、大野市消防本部と協力し、これまでの消防団員の勧誘や市民への広報活動に加え、令和5年1月1日からは団員の休団制度や機能別消防団員制度を導入して団員の待遇改善を図ったほか、4月1日からは分団の再編成を行うなどして消防力の確保に努めています。

今後は、新しい人材確保はもちろんですが、在籍団員の福利厚生の充実、やりがいのある消防団活動、消防団員であることに誇りを持ってもらえる消防団を目指していきたいと思います。



第29回全国消防操法大会



「西ノ島町の安心安全を 守るために」

西ノ島町消防団 団長 小島 一夫



1 西ノ島町の紹介

日本海に浮かぶ西ノ島町は、島根半島から北東へ約65kmの位置にあり、面積55.96m²、人口約2,600人を有し、漁業、畜産、観光を主な産業としています。

火山島であったことから、地形が急峻なため河川は発達する余地が無く、ほとんどが谷間の小流であり、急な山裾がそのまま海に接する地形となっており、平坦地はほとんどありません。

摩天崖や国賀海岸など、日本海の荒波と強風によって創られた自然景勝地が多く、周辺一帯は広大な放牧地となっており、牛馬が草を食み、海を背景に映える風景が広がっています。歴史は古く、平安時代から海上守護の神として全国に知られた焼火神社や由良比女神社などがあり、隠岐ユネスコ世界ジオパークに認定されています。

2 西ノ島町消防団の紹介

西ノ島町消防団は、昭和32年2月11日に、旧浦郷町と旧黒木村の合併により発足しました。当時306名であった団員定数は、昭和47年に250名、昭和50年に229名、平成16年に208名で遷移しています。町内15集落それぞれに居住する団員を中心とした班編成が主流でしたが、人口減少や核家族化の進展、自営業者の減少、集

合住宅が密集する地域へ居住する団員の増加などにより、以前のような各集落単位での消防力の維持が難しくなっています。

この課題を解決するため、令和2年には、条例定数を145名とし、班の集約、待機班の廃止など、機動力の確保及び消防力の維持・強化を目的とした団再編を行いました。本団及び4分団からなり、ポンプ車4台、ポンプ積載車5台、可搬ポンプ1台を配備し、訓練や啓発活動、災害対応等に運用しています。

町内の集落すべてが日本海に面していることから、消火活動にあたっては、海水を水利とした消火活動が基本となっています。現在、実員128名で活動していますが、さらなる処遇改善を行うなど、女性を含めた団員確保の取り組みを強化していきたいと考えています。



消防団出初式



新入団員訓練



林野火災想定訓練

3 西ノ島町消防団の活動

例年1月5日に行っている出初式では、消防団への理解と信頼を深めることを目的に、通常点検や分列行進、一斉放水等を実施しています。春秋の火災予防運動週間には、横断幕を用いた防火広報や夜間警戒活動、防火パレードを行い、消防車両の車列で町内を巡回するなど、火災予防を呼びかけています。

新入団員を対象とした春季訓練、全団員を対象とした夏季訓練を行い、知識・技術の向上に努めており、定期的に、隠岐島消防署協力のもと、実際の林野火災を想定した中継放水訓練を行うなど、状況に応じた即応体制の整備に資する訓練等を実施しています。

4 終わりに

新型コロナウイルスの影響により、日本中が混乱し、今多くの人達が苦しみ大変な思いをされています。日常生活が一変し、新しい生活様式が定着する中で、人と人との関りが薄れてきたように感じています。

消防団は、団員同士、また、地域の人と密接にかかわり協力することで地域を守っています。災害は変わらず起きていますので、来る事態に備え、団員同士、また、地域の人とのかかわりを改めて強固なものにするなど、出来ることを地道に行っていくことが必要であると考えています。

消防団としての役割の重要性はますます高まっています。住民の信頼、期待に応えるべく、消防人としての使命を自覚し、努力してまいる所存です。



「熊本地震から7年」

熊本市消防団 団長 山口 純一



早いもので、あの二度にわたる大きな揺れからもう7年を迎えました。

思い出したくもない体験ですが、喉元すぎれば何とかで、ほとんど忘れている自分がここにいます。「え、そうだった？ そんなことあった？」がついつい口から出てしまします。

あのドタバタした日々、何をどうしたらしいのか、何から進めて行けばいいのか、毎日奔走しながらも即断即決で目の前の案件を捌いていたように記憶しています。



もう7年も経てば風景も随分変わりました。地震の爪痕など殆どなくなり、いつの間にか新しい建物が建ち、区画整理がなされた街並みが増えました。災害と渋滞に備えて広げられた道路。既存の建物も耐震化や改修が進み、いざという時のために役立つツールや備蓄品がいたる所に備え付けられています。随分とハーフ面での強靭化は進んでいます。

一方で、熊本のシンボルでもあります。

本を代表する名城に数えられる熊本城だけは、完全に復旧するまであと50年かかると言われています。

気の遠くなるような歳月が必要で、改めて先人達の偉大さや強さ、匠の技の素晴らしさを感じずにはいられません。



ところで、そんな私に7年前に引き戻すような出来事がありました。「熊本地震についての講演」との依頼がありました。あれから7年、どんなに頭を叩こうが過去に向かって目を閉じてみても、そしてどう足搔こうが思い出せず、絶対に無理だろうと思い込んでいました。

しかし折角の依頼を無下にお断りはできないと、当時の写真や動画、多方面から纏められた手記や冊子などを見てみることにしました。すると時間の経過とともに、色々なことが現実のものとなって蘇ってきました。

やはり人生までも変えてしまいそうな貴重な体験や体感、経験は忘却してしまうことはないと強く感じた瞬間でもあり

ました。

当時のことを思い返すと、消防団にあっては本来の業務ではない雑務や雑用に追われ、忙殺されたような日々を送っていたように思います。避難所の手伝い、支援物資の仕分けや避難所への配達。交通整理、ブルーシート張り、生活用水の確保など、列記できない程いとまのない時間と大変な仕事量でした。

団員も全てが手探りで、不安と混沌とした状況の中、消防団員として目の前にことに一所懸命、使命と責任を果たそうと頑張ってくれました。「常に住民に寄り添い、地域から信頼と親交を受ける消防団員を目指す」という思いがそれぞれにあったからこそ、あの活動が生まれたものと思い、感謝しています。



私たちは熊本市消防団としての活動のマニュアルを作成しておりません。個々の分団にはあるかもしれません、全体としてのノウハウや手順方法は持ち合わせておりません。「地域住民のことを最優先と考え、良しとする行動ができるここと」それが我々の目指す原点であり、住民からの信頼をいただく結果に繋がっているものと思っています。

地震から7年。色々な団体や協議会でマニュアルや行動指針が作成され公開されています。確かに大きく捉えるとその

必要性も十分理解できます。しかし、私としては大規模災害においてはこうしたマニュアルが消防団には必要ないのではと思います。それは、地域の為に今何が必要であり大切なことかという判断と広い視野を持って臨機応変な活動ができることが消防団の強みであり特性であると実感しているからです。持ち味である多彩な行動が制限されてしまうことへ懸念、あえて決められた仕事を与えないことで地域に精通した団員が自主的に特有性を活かした活動ができます。

消防団は、大きな組織の中の一員として組み込まれがちです、○○協会だったり○○協議会だったり組織内で仕事を与えられ、それに伴う責任が発生してしまいます。さらにそれに応えようと頑張ってしまいます。

消防団は本来フリーであるべきなのです。近年、全国各地でかつて経験したことのない未曾有の大規模な災害が発生しております。尊い人命が失われ復旧困難な程にダメージを受けた土地や建物が全国各地に散々しており、それらは決して対岸の火事ではなくいつか自分の所でも起こりうる身近な災害として極めて大きな問題として捉える必要があると考えます。だからこそ、災害に立ち向かう我々が全国一丸となって一致団結して情報を発信、共有して各々のレベルアップ・スキルアップを目指すことが必要ではないかと思います。

私自身、これまでもこれからも、そしてこの先も変わることのない高い志を持ち続け地域に根差し、住民の負託に応えられるよう今、心新たにしているところです。



シンフォニー（新潟県）

「コロナ禍を乗り越えて」 —柏崎市消防団女性消防隊の活動—

柏崎市消防団女性消防隊 隊員 近藤 由香里

1 柏崎市消防団女性消防隊について

「消防団・女性消防隊に入りませんか？」と友人を介して声を掛けられたのは、約7年前のこと。もともと赤十字安全奉仕団で活動していたこともあり、少しでも地域の役に立てればと思って入団しました。当初は不安もありましたが、先輩団員の皆さんのが「自分の地域は自分達で守っている」との気概と誇りを持って、明るく活動されている姿に感銘を受けました。そして活動に参加するうちに、いつしか自分も消防団員・女性消防隊員の一員だと感じられるようになりました。

柏崎市消防団女性消防隊は2012年4月1日に発足し、19の分團に所属する女性消防団員（任意）で組織されています。当時の地元紙の記事に「消防団は従来の活動のほか、防火指導や予防啓発、要援護者支援などと活動が多様化している。こうした中で、地域に密着して生活し、地域コミュニティの結びつきが強い女性の入団促進が求められてきた。」とあります。女性の持つきめ細やかな視点や柔軟な発想、コミュニケーション力の高さを生かして活動することが期待されたのだろうと思います。



応急手当普及員としての指導の様子

2 活動について

女性消防隊の主な活動は、出初め式、ポンプ操法大会、各方面隊の演習におけるアナウンスや表彰補助等があります。また6月には柏崎市の伝統的な行事、新潟三大高市の一つである「えんま市」において、火災予防グッズやチラシの頒布を行い、啓発・広報に努めます。

その他、応急手当講習会での指導、新潟県消防学校での教育訓練、新潟県や全国で行われる女性消防団員活性化大会への参加などがあります。各隊員はそれぞれ、仕事や家庭、そして所属する分団とのバランスをとりながら活動してきました。

3 コロナ禍において

しかし、2020年1月以降は、新型コロナウイルス感染拡大により、出初め式や各種大会・演習のほとんどが中止になり、女性消防隊が活動する機会がなくなってしまいました。加えて、2017年から学生消防団員が増加し、2020年度には学生消防隊が発足して脚光を浴びるようになると、女性消防隊が注目されることはほとんどなくなりました。発足当初は22名でスタートした女



消防研究大会の分列行進



えんま市での啓発グッズ頒布

性消防隊でしたが、コロナ禍で隊員募集もままならない中、仕事や家庭の事情等で退任者が相次ぎ、いつしか隊員は半減していました。

2021年3月に行われた女性消防隊の総会では、久しぶりに隊員が一堂に会して、それぞれの気持ちや、これからのことを持ち合いました。各隊員の活動に対する意欲は高く、コロナ禍であっても、何かできることはあるのではないか、今は無理でも状況が落ち着いたらこんなことをやりたい等、前向きな意見が多く出されました。また、同年5月に発行された「市議会だより」では若手消防団員の特集が組まれ、隊員のひとりが取材の中で女性消防隊について紹介。全戸配布された紙面を通して、女性消防隊の存在を示すことができました。

そして、活動がなくても情報共有し、コミュニケーションをとれるよう、女性消防隊グループLINEをつくり、事務連絡をはじめ、さまざまな情報をやり取りしながら、お互いの意思確認を行ってきました。このように「地域を守る力でありたい」という個々の想いが結集し、コロナ禍であっても女性消防隊としての誇りと絆、モチベーションを維持してきたのです。

やがて、2022年1月の出初め式では、約1年ぶりに女性消防隊員が一堂に会して、式典のアナウンスや表彰補助、来場者の受付などを担いました。出初め式自体が2年ぶりの開催となり、YouTubeで配信されるなど初の試みもなされました。同年はポンプ操作大会に替わる消防訓練も開催さ



消防救急フェアでの啓発グッズ頒布

れ、進行役を務めました。また、3年ぶりの「えんま市」でも、感染防止に配慮しながら、火災予防啓発グッズの頒布活動を行うことができました。こうして、ウィズ・コロナ期でも隊員同士が結束し、活動を再開できたことは、私たち女性消防隊にとって大きな自信になりました。

4 未来に向けて

これから女性消防隊にとって、ふたつの課題があります。ひとつは仲間を増やすことです。現在の女性消防隊員は10名を切っています。それなり意欲の高い隊員ですが、仕事や家庭などの状況により、必ずしも全員が毎回活動に参加できるわけではありません。まずは各分団に所属する女性消防団員に働きかけ、一般の方々にも「一緒に活動してみたい」と感じていただけるよう、女性消防隊の活動をわかりやすく示し、やりがいや楽しさを発信していきたいと思います。

もうひとつはスキルアップです。災害が発生した場合、最前線での対応と同時に、後方支援が重要になります。他県では災害時の避難所運営を女性消防団員が担ったケースもあるそうです。今後は防災・減災の知識や技術を皆で学び、実践力を高めたいと感じています。

これからアフター・コロナ期においても、女性消防隊が「地域を守る力」として、ますます輝けるよう、私も頑張りたいと思います。

消防団を中心とした地域防災力向上の推進

栃木県 鹿沼市消防本部・鹿沼市消防団

鹿沼市の紹介

栃木県鹿沼市は、県央西部に位置し、西部の山地を源として、大芦川、荒井川、栗野川、思川、永野川が北西から南東に流下し、隣市の日光市からは黒川や行川が南流しており、平成27年関東・東北豪雨(台風18号)や、令和元年東日本台風(台風19号)の豪雨災害により、甚大な被害を受けました。

鹿沼市消防団地域防災力充実強化ビジョンの推進

鹿沼市では、市民の積極的な参加の下に、消防団を中心とした地域防災力の充実強化を図り、もって、市民の安全確保を資することを目的として、消防団を中心とした地域防災力強化の基本的な方針「鹿沼市消防団地域防災力充実強化ビジョン」を令和4年3月に策定しました。

ビジョンの地域防災力強化に向けた施策としては、①消防団組織体制の適正化、②消防団員の処遇改善、③消防団に対する理解の促進、④消防団員の加入促進、⑤女性消防団員の活躍推進、⑥平時の消防団活動のあり方と負担軽減、⑦消防団員の安全確保対策、⑧地域コミュニティとの連携、⑨その他の施策と9つの施策を策定し、これらを軸とした各種事業を実施しております。

今年度実施した事業は、消防団員定数の適正化や報酬等の改善など消防団の活動環境を改善した事業、市内の保育園・幼稚園や小学校の子供たちへの防災教育を行うことによる消防団の将来の担い手の育成や鹿沼市消防団Instagram開設による若い世代へのアプローチ、ヤクルト販売株式会社との消防団活動支援協定締結など消防団全体のイメージアップや加入促進につながる事業、市・県・警察等と連携した重要水防箇所点検や土砂災害危険箇所点検の実施による防災関係機関の連携強化や地区防災計画策定への参画、地域コミュニティとの連携強化事業など、積極的に事業を推進しました。

鹿沼市消防フェスティバル2022の開催

それらの総体的な事業として、令和5年2月26日「鹿沼市消防フェスティバル2022」を開催し、市内外からの2,000人を超える来場者が訪れました。

開催の目的は、市民に対する消防・消防団の理解促進と、消防団員確保対策とし、特に未来の消防団の担い手



となる子供たちには、幼少期から消防団や防災に触れることで消防団への興味関心を持ってもらい、中長期的な確保対策事業として開催しました。

フェスティバルのイベントは、時間帯で開催したイベントと常時開催イベントを用意。

時間帯で開催したイベントでは「レスキューショー」「救命講習体験」などを5回開催。はしご車を使った高所からのレスキューショーでは、観衆から大きな歓声と拍手が送られました。

常時開催イベントでは、「消防士なりきり体験」や「消防車乗車体験」など、主に体験型を18イベント開催しました。その中でも「消防車乗車体験」では、長蛇の列(約70m)ができてしまい、車両1台で運用していたものを5台まで増大するなど、普段では体験できないイベントに、多くの来場者に喜んでいただきました。

また、防災関係機関が相互に緊密な連携強化を図ることを目的とし、平時から顔の見える関係を構築するため防災啓発ブース出展を募り、14の機関に参加していただきました。

来場者からは、「さまざまな体験ができる面白いながらも、防災について学ぶことのできるイベントでした。娘もとても楽しんでいるようです。地域の消防や消防団を身近に感じられ、頼もしく思いました。」という声もいただきました。

今後も、消防団を中核とした地域防災力向上に向けた事業を積極的に展開し、安全安心なまちづくりを目指して努力してまいりたいと思います。



消防団幹部職章・ 消防団員章のご案内

日本消防協会では、消防団幹部の皆さんのがその階級に応じた職章を定め、着用することができるようになっています。

※制服用と私服用の2種類あります。消防団員の皆様が着用できる消防団員章も作製しています。

制服用（団長）



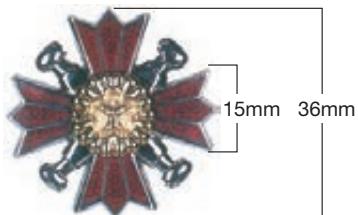
私服用（団長）



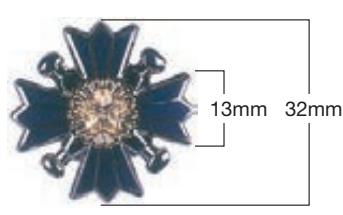
公益財団法人 日本消防協会

制服用

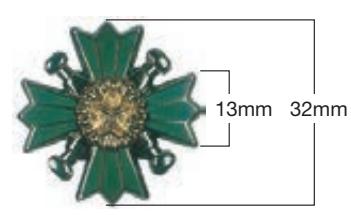
団長



副団長



分団長



私服用

団長



副団長



分団長



セット品

団長



副団長



分団長



仕様

- 菊花、消防団章……円形の菊花の中央上部に消防団章を配す。
- 矢羽根……………菊花の周囲に各3枚1組の矢羽根を垂直上部を基点とし90度ごとに十字状に配す。
- 管そう……………各矢羽根と矢羽根の間を二等分する位置に十字状に配す。
- 丹銅製・七宝焼き仕上げ・桐箱入り

価格

団長

制服用	6,800円
私服用	7,330円
セット価格	12,570円

副団長・分団長

制服用	5,760円
私服用	6,280円
セット価格	10,470円

▲消費税は含まれております。

職章を着用する位置

制服(団長)

階級章の
中央上部とし、
職章の下部が
階級章より
概ね5mm離れた
位置とする。

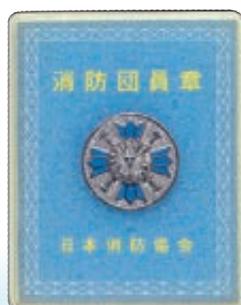


私服(団長)

左襟飾り穴に
取り付け、
飾り紐を襟裏に
まわし止める。



消防団員章 デザイン・仕様



プラスチックケース

(スポンジ入り
紙スリーブ付き)

価格830円／個
(消費税を含む)

- 直径17mm(消防団幹部職章と同程度の寸法)。
- 消防団員章にふさわしい格調高いデザインです。
- 下層:円形台座に矢羽根と管そうを配しました。
- 上層:菊花の中央上部に消防団章を配しました。
- 菊花および消防団章は銀メッキ仕上げです。
- 矢羽根の色は、消防のシンボルカラーとして「水」の水色。鮮明に浮き立つ仕上げです。
- 材質は真鍮製、ニッケルメッキ仕上げです。
- プラスチックケース入り(金箔文字入り)。
- 消防団員章を着用する位置は左襟飾り穴に取り付けます。



消防団幹部職章のお申し込み票



●お申し込みの職章、個数をご記入ください。

令和 年 月 日

制服用		私服用		セット品	
団長	個	団長	個	団長	個
副団長	個	副団長	個	副団長	個
分団長	個	分団長	個	分団長	個

消防団員章のお申し込み票

●お申し込みの消防団員章の個数をご記入ください。

令和 年 月 日

消防団員章	個
-------	---

必要事項をご記入ください。

都道府県		消防団名	ご担当
所在地 (送付先)	〒		
TEL		FAX	

【お申し込み方法】

お申し込みはFAXまたは封書にて都道府県消防協会へお申し込みください。

----- きりとり -----

お問い合わせ先：公益財団法人 日本消防協会

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル内

TEL.03-6263-9805 FAX.03-6263-9863

URL <https://www.nissho.or.jp/> HPを参照ください。

消防団の活動を支援する

公益財団法人 日本消防協会オリジナル商品

日本消防協会賛助会員



Since 1979 Signal Co.,Ltd

株式会社 シグナル

お問い合わせ・ご注文専用ダイヤル
0120-607-444
[通話料金不要] ※携帯・PHSからご利用できます。
受付時間/9:30~17:30 定休日/土・日・祝日
info@signalos.co.jp
〒733-0833 広島県広島市西区商工センター2丁目2-25

オフィシャルホームページ

<https://www.signalos.co.jp>

消防グッズ&
消防情報専門サイト

シグナル 通販

シグナル SNS



LINE@
@signal_4976



Facebook
@signal_4976



Instagram
signal_4976

日消／火の用心 纏桜吹雪
エアライドTシャツ



日消／火の用心 纏桜吹雪
フェイスタオル



930円(税込) [サイズ]縦34cm×横84cm
[素材]綿100%

舞い踊る纏と桜！



2,700円(税込)

[サイズ]S/M/L/XL/XXL
[カラー]ネイビー
[素材]ポリエステル100%

日消／日の丸
エアライドTシャツ



日消／VFF
スポーツタオル



1,360円(税込) [サイズ]縦40cm×横110cm
[素材]綿100%

日消／アポロキャップ



2,930円(税込)

[タイプ] オールニット/バックメッシュ
[サイズ] フリー(58cm~60cm)
[カラー] ネイビー
[素材]ポリエステル100%

日消／ネクタイピン桜



1,140円(税込)

[サイズ] 長さ5cm
[材質]真鍮ニッケルメッキ

5点
セット



ご自分のアイテムをプラスして
オリジナルの緊急防災セットに!!

日消／エマージェンシーボトル

900円(税込) [サイズ]外箱:幅8.5cm×高さ19.5cm×奥行8.5cm

2023年度 全国統一防火標語・防火ポスターの発表

総務省消防庁 予防課

消防庁では、家庭や職場・地域における防火意識の高揚を図ることを目的として、一般社団法人日本損害保険協会との共催で、2023年度全国統一防火標語を、

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」
に決定しました。

この標語は、住宅防火対策等を推進する令和5年度の春・秋の全国火災予防運動等で防火標語として活用されます。

また、一般社団法人日本損害保険協会が作成する2023年度全国統一防火ポスターに掲載され全国の消防本部等において火災予防の広報に活用されます。

今年度のポスターのモデルとして起用された野口絵子さんは、登山家の野口健さんの長女で、写真や演劇といった、芸術活動に情熱を傾けながら、「世界ふしぎ発見」などでレポーターも務めました。今後、幅広い分野での活躍が期待されています。



防火ポスターの歴史

1949年度から「全国統一防火ポスター」の制作が始まり、1979年度からポスターモデルにタレントを起用しています。1981年度には松田聖子さん「毎日が防火デーです ぼくの家」、1987年度は酒井法子さん「消えたかな！ 気になるあの火 もう一度」、2002年度は上戸彩さん「消す心 置いてください 火のそばに」、2007年度には戸田恵梨香さん「火は見てる あなたが離れる その時を」と数多くの芸能人が防火ポスターのモデルとなっています。ポスターのモデルをきっかけに各界で活躍している方は多く、人々の関心の高さがうかがえます。また、防火標語は、誰にでも伝わりやすい言葉が使われています。

過去の標語

[2022年度]

お出かけは マスク戸締り 火の用心

[2021年度]

おうち時間 家族で点検 火の始末

[2020年度]

その火事を 防ぐあなたに 金メダル

[2019年度]

ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

[2018年度]

忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

「第27回防災まちづくり大賞」受賞団体の決定

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室

令和5年2月28日(火)、霞山会館(東京都千代田区)において、第27回防災まちづくり大賞表彰式を開催しました。

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、今回で27回目を迎えました。

地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。



主催者挨拶をする尾身総務副大臣



表彰状授与の様子

今回は全国各地から73事例の応募があり、学識経験者等で構成される選定会議において、他の地域の模範となる優れた17事例が選定されました。

受賞事例数

応募総数		73
表彰区分	総務大臣賞	3
	消防庁長官賞	5
	日本防火・防災協会会長賞	9
	受賞事例総数	17

災害による被害を軽減するためには、地域の防災力を強化すること、とりわけ地域の方々の「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意識と連帯感に支えられた自主的な防災活動を推進していただくことが重要です。

平成25年12月に「消防団を中心とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、住民、自主防災組織、消防団、地方公共団体、国等の多様な主体が、相互に連携協力して、地域防災力を高めていくことの重要性が示されました。

受賞団体の皆様には、今回の受賞を契機として、より一層日頃からの活動を充実・発展させ、引き続き、地域防災力の向上にご尽力いただくことを期待しています。



総務大臣賞(3団体)との記念撮影の様子

第27回防災まちづくり大賞 受賞団体

総務大臣賞(3団体)

(各賞、建制順)

都道府県	市区町村	受賞団体	受賞事例
新潟県	長岡市	NPO法人ふるさと未来創造堂	新潟県長岡市における持続可能な防災教育体制の構築 ～「御用聞き」がつなぐ、学校・地域・家庭の防災教育～
富山県	小矢部市	小矢部市障害者団体連絡協議会	地域に根ざす共生社会づくりを活かした障害者と健常者が共に学び共に行う防災訓練
広島県	広島市	落合学区自主防災会連合会	甚大な災害を経験した地域が、災害経験を糧に新たに取り組み始めた自主防災組織の活動内容

消防庁長官賞(5団体)

都道府県	市区町村	受賞団体	受賞事例
宮城県	仙台市	立町マイスクール児童館	児童館による地域の子どもを中心とした無理なく継続できる防災意識向上の取組
富山県	氷見市	仏生寺地域づくり協議会	安心して暮らせる地域づくり(防災・減災の取組)
愛知県	名古屋市	一般社団法人中部地域づくり協議会	大雨から大切な命を守る！誰一人取り残さない、逃げ遅れゼロに向けて住民避難を後押しする防災啓発
兵庫県	福崎町	福崎町消防団・福崎町立田原小学校	未来の消防団員へ地域防災教育及び加入促進 ～消防団×学校が最強タッグ～
和歌山県	海南市	自治会自主防災会・臨海企業連絡会	地域住民と企業による「誰ひとり取り残さない持続可能な地域づくり」 ～東日本大震災から10年、これから私たちの10年～

日本防火・防災協会長賞(9団体)

都道府県	市区町村	受賞団体	受賞事例
北海道	根室市	はぼまいぎょぞうきょうどうくくあい 歯舞漁業協同組合	小型漁船への防災情報伝達システムの開発と社会実装への取組
東京都	杉並区	ちよおだいがくすなみこうどうがっこう 中央大学杉並高等学校	だれも失わない学校づくり
神奈川県	横浜市	よこはまじよしよりょくとんじやく 横浜橋通商店街、株式会社野毛印刷社、 横浜市消防局南消防署	子どもを育てる「防災でらこや」 ～商店街を基軸とした防災まちづくり～
愛知県	名古屋市	いっぽうしきんじゆうじき 一般社団法人愛知県建設業協会	建設業だからできること 土のうつくり体験
三重県	紀宝町	つもとちく 津本地区自主防災会	紀伊半島大水害から立ち上がった、津本地区自主防災会の取組
京都府	京都市	こが・久我の杜・羽束師地域まちづくり 協議会 防災部会	水害に強い安心安全のまちづくりを目指して
大阪府	八尾市	おおさかいばりやうか 大阪経済法科大学学生消防隊SAFETY	大阪経済法科大学学生消防隊が、自主防災活動を活性化
広島県	三原市	みはらし ぼうさい 三原市防災ネットワーク	「チーム三原防災」 ～市内防災団体のネットワークを生かした啓発活動と災害支援活動～
熊本県	荒尾市	あらお防災人の会	誰一人として取り残さない防災まちづくり！

防災まちづくり大賞選定会議委員名簿

(敬称略、五十音順)

○：委員長

佐藤 翔輔 (東北大学災害科学国際研究所 准教授)	船木 伸江 (神戸学院大学現代社会学部 教授)
高尾 和彦 (一般財団法人日本防火・防災協会 理事長)	水野 雅之 (東京理科大学大学院理工学研究科 准教授)
竹内 裕希子 (熊本大学大学院先端科学研究所 教授)	室崎 益輝 (神戸大学 名誉教授)
野村 政樹 (消防庁国民保護・防災部防災課長)	山神 明理 (NPO法人気象キャスターネットワーク 気象予報士・防災士)
廣井 悠 (東京大学大学院工学系研究科 教授)	

令和4年度防災功労者消防庁長官表彰式 及び消防団等地域活動表彰式について

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室

令和5年3月10日(金)、ニッショーホール(東京都港区)において「令和4年度防災功労者消防庁長官表彰式及び消防団等地域活動表彰式」が開催されました。

■防災功労者消防庁長官表彰

(6団体)

大規模な自然災害、火災、事故等の現場において顕著な功績が認められる消防団等を表彰しました。

○代表受領

石川県 小松市消防団



消防団等地域活動表彰受賞団体(消防団表彰)



防災功労者消防庁長官表彰受賞団体



消防団等地域活動表彰受賞団体(事業所表彰)

■消防団等地域活動表彰

(22団体)

平常時において地域に密着した活動を積極的に行い、地域防災力の向上に寄与し、その活動内容が特に優秀な消防団又は団員確保について特に力を入れている消防団、及び消防団活動へ特に深い理解や協力を示し、団員確保に貢献している事業所等を表彰しました。

○代表受領

(消防団表彰) 長野県 阿智村消防団
(事業所表彰) 山口県 秋芳鉱業株式会社

■受賞者代表謝辞

受賞者を代表して、石川県小松市消防団の
小林彦幸さんから謝辞をいただきました。

石川県 小松市消防団
小林 彦幸 氏



受賞団体一覧

■防災功労者消防庁長官表彰

6団体

都道府県	受賞団体
青 森 県	外ヶ浜町消防団
青 森 県	深浦町消防団
山 形 県	長井市消防団
山 形 県	川西町消防団
山 形 県	飯豊町消防団
石 川 県	小松市消防団

■消防団等地域活動表彰(消防団表彰) 8団体

都道府県	受賞団体
東 京 都	小笠原村消防団
東 京 都	千住消防団
東 京 都	日本堤消防団
神奈川県	横浜市金沢消防団
長 野 県	青木村消防団
長 野 県	阿智村消防団
大 阪 府	田尻町消防団
大 阪 府	熊取町消防団

■消防団等地域活動表彰(事業所表彰)

14団体

都道府県	受賞団体
北 海 道	月形町農業協同組合
岩 手 県	大森工業株式会社
東 京 都	学校法人滋慶学園 東京医薬看護専門学校
神奈川県	トヨタモビリティ神奈川 南店
新 潟 県	株式会社丸和総建
富 山 県	いなば農業協同組合
福 井 県	ハヤカワ商事株式会社

都道府県	受賞団体
長 野 県	株式会社竹花組
岐 阜 県	株式会社青山制作所製造本部 中津川工場
静 岡 県	オルレー株式会社
愛 知 県	SafetyManagement 株式会社
山 口 県	秋芳鉱業株式会社
愛 媛 県	愛媛県漁業協同組合 中島三和支所
長 崎 県	有限会社松田運輸

令和4年度優良少年消防クラブ・指導者表彰(フレンドシップ)の開催

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室

■はじめに

令和5年3月28日(火)、都市センターホテルにおいて、「令和4年度優良少年消防クラブ・指導者表彰(フレンドシップ)」を開催しました。

消防庁では、クラブ員や指導者の意識高揚とクラブ活動の活性化を図り、少年消防クラブの育成発展に寄与することを目的に、昭和29年から毎年、優良少年消防クラブ及び指導者の表彰を行っています。

今回は、第1部「表彰式」、第2部「受賞した少年消防クラブによる活動報告」という構成で開催しました。

■少年消防クラブについて

少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までの少年少女で結成されており、令和4年5月1日現在、全国に約4千百のクラブ、約39万人のクラブ員、約1万3千人の指導者が活動しています。

少年消防クラブ員は、防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災に関するさまざまな訓練の実施、防火パトロールや火災予防ポスターの作成などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

■式典

第1部では、「特に優良な少年消防クラブ」14団体、「優良な少年消防クラブ指導者」20名が、尾身総務副大臣から、「優良な少年消防クラブ」30団体が、前田消防庁長官から、それぞれ表彰を受けました。その後、受賞団体を代表して東京都の本田消防少年団の代表者より、元気良く「お礼のことば」が述べられました。



特に優良な少年消防クラブの表彰

第2部では、「特に優良な少年消防クラブ」を受賞したクラブの中から、「多摩消防少年団(東京都)」、また、「優良な少年消防クラブ」を受賞したクラブの中から、「桂岡少年(少女)消防クラブ(北海道)」に、日頃のクラブ活動について報告していただきました。



多摩消防少年団(東京都)

■終わりに

今回受賞された少年消防クラブをはじめ、全国の少年消防クラブの皆さんには、多くの仲間とともに日ごろの防火・防災活動にさらに励み、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されています。

また、少年消防クラブの活動は、指導者の方々の熱意によって支えられており、指導者の方々には、今後とも少年消防クラブの育成・発展に御尽力いただきますようお願いいたします。

令和4年度優良少年消防クラブ・指導者表彰(フレンドシップ)受賞クラブ及び指導者

(各賞、建制順)

■ 特に優良な少年消防クラブ

(14クラブ)

都道府県	市区町村	クラブ名
北海道	札幌市	八軒少年消防クラブ
宮城県	七ヶ浜町	七ヶ浜町立汐見小学校少年消防クラブ
	南三陸町	歌津中学校少年防災クラブ
福島県	郡山市	三代少年消防クラブ
栃木県	小山市	小山市立羽川西小学校少年消防クラブ
東京都	葛飾区	本田消防少年団
	荒川区	荒川消防少年団
	台東区	浅草消防少年団
	多摩市	多摩消防少年団
	三鷹市	三鷹消防少年団
富山県	高岡市	高岡市立万葉小学校少年消防クラブ
	富山市	富山市立堀川南小学校少年消防クラブ
石川県	金沢市	此花子ども消防クラブ
京都府	京都市	京都市南ジュニア消防団

■ 優良な少年消防クラブ指導者

(20人)(敬称略)

都道府県	市区町村	クラブ名	氏名
北海道	札幌市	西福少年消防クラブ	佐藤 まさ子
		ふじの少年消防クラブ	根岸 宏之
		琴似少年消防クラブ	竹島 ゆみ
	北見市	太陽わらべ太鼓少年消防クラブ	山内 克也
青森県	八戸市	千葉学園高等学校消防クラブ	齋藤 大輔
岩手県	盛岡市	みたけ北少年消防クラブ	蛇口 繁季
福島県	郡山市	三代少年消防クラブ	古川 智志
東京都	練馬区	光が丘消防少年団	篠田 克徳
	足立区	足立消防少年団	馬場 多津雄
	大田区	大森消防少年団	加藤 哲朗
	多摩市	多摩消防少年団	荒津内 優子
	中野区	野方消防少年団	門池 義遵
神奈川県	川崎市	麻生地区少年消防クラブ	宮坂 はる子
		宮前地区少年消防クラブ	澤井 純子
	大和市	大和市少年消防団	佐藤 瑞乃
新潟県	津南町	笹沢少年消防クラブ	福原 照男
		笹沢少年消防クラブ	瀧沢 秀行
		笹沢少年消防クラブ	恩田 稔
高知県	黒潮町	上川口少年消防クラブ	林 文彦
長崎県	松浦市	御厨少年消防クラブ	武辺 健一郎

■ 優良な少年消防クラブ

(30 クラブ)

都道府県	市区町村	クラブ名
北海道	札幌市	おかだま 丘珠はまなす少年消防クラブ
	小樽市	からおか 桂岡少年(少女)消防クラブ
青森県	八戸市	なしのきたし 梨ノ木平少年消防クラブ
		はちのへしりつだいいち 八戸市立第一中学校消防クラブ
岩手県	遠野市	おとわ 小友小学校少年消防クラブ
宮城県	松島町	まつしまりつめつめいご 松島町立松島第五小学校少年消防クラブ
福島県	田村市	あたじ 都路小学校少年消防クラブ
栃木県	小山市	おやましりつおやまだいに 小山市立小山第二小学校少年消防クラブ
千葉県	市原市	いちはらしりつめいじん 市原市立明神小学校少年消防クラブ
東京都	練馬区	じくじい 石神井消防少年団
	荒川区	あく 尾久消防少年団
	港区	あかさか 赤坂消防少年団
	調布市	ちふ 調布消防少年団
	中央区	にほんばし 日本橋消防少年団
神奈川県	平塚市	ひらつかし 平塚市少年消防クラブ
	湯河原町	ゆがわらまち 湯河原町少年少女消防クラブ
新潟県	津南町	ささなか 笹沢少年消防クラブ
石川県	金沢市	おおのまち 大野町子ども消防クラブ
福井県	坂井市春江町	さかいしりつおおいし 坂井市立大石小学校少年消防クラブ
岐阜県	郡上市	あいおい 相生小学校少年消防クラブ
		はしまんにし 八幡西中学校少年消防クラブ
愛知県	岡崎市	おかざきしりつじかわ 岡崎市立藤川小学校少年消防クラブ
三重県	亀山市	かめやまし 亀山市少年消防クラブ
京都府	綾部市	あやべし 綾部市少年少女消防クラブ
兵庫県	神戸市	うおさき 魚崎ジュニア防災チーム
	たつの市・太子町	たつの・たいし たつの・太子少年消防クラブ
岡山県	津山市	かわべいのくち 河辺井ノ口少年消防クラブ
徳島県	阿波市	どなり 土成中学校少年少女消防隊
愛媛県	久万高原町	なおせ 直瀬小学校少年消防クラブ
熊本県	天草市	しんわ 新和小学校少年消防クラブ

令和4年度総務大臣感謝状(消防団関係)の贈呈団体の決定

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室

令和4年度総務大臣感謝状(消防団関係)の贈呈団体を次のとおりとしましたので、お知らせします。

○ 贈呈団体：38消防団

【参考】

総務大臣感謝状(消防団関係)は、「消防団を中心とした地域防災力の充実強化に関する法律」(平成25年法律第110号)の制定の趣旨を踏まえ、消防団員の確保等に積極的に取り組む消防団(全ての消防団員、女性の消防団員、学生の消防団員、機能別団員が増加した上位の消防団)に対し、総務大臣より感謝状を贈呈するものです。

令和4年度総務大臣感謝状(消防団関係)贈呈団体

38消防団(建制順)

北海道	うたしないしそうばうだん 歌志内市消防団	ふじみまちしそうばうだん 富士見町消防団
	しべつちほうしそうばうじむくみあいほろかないちほうしそうばうだん 士別地方消防事務組合幌加内町消防団	
	ようていさんしそうばうみあいきょうごくしそうばうだん 羊蹄山ろく消防組合京極消防団	
青森県	ひろさきしそうばうだん 弘前市消防団	ねじまきしそうばうだん 根羽村消防団
秋田県	だいせんしそうばうだん 大仙市消防団	きたあいきむらしそうばうだん 北相木村消防団
山形県	ひがねしそうばうだん 東根市消防団	なこやしげしがみにしそうばうだん 名古屋市志段味西消防団
福島県	にほんまつしそうばうだん 二本松市消防団	みよししそうばうだん みよし市消防団
茨城県	じうそうしそうばうだん 常総市消防団	にしおしきらしそうばうだん 西尾市吉良消防団
東京都	にほんばいしそうばうだん 日本橋消防団	よのかいわしそうばうだん 四日市市消防団
	いたばいしそうばうだん 板橋消防団	とばしそうばうだん 鳥羽市消防団
	なかのしそうばうだん 中野消防団	いばれおつしそうばうだん 泉大津市消防団
	せたがやしそうばうだん 世田谷消防団	ひろしましきえいしそうばうだん 広島市佐伯消防団
	あらかわしそうばうだん 荒川消防団	はつかいちしそうばうだん 廿日市市消防団
神奈川県	よこはましげみしそうばうだん 横浜市泉消防団	せんつうじしそうばうだん 善通寺市消防団
	よこはましあながわしそうばうだん 横浜市金沢消防団	おおずしそうばうだん 大洲市消防団
	よこはましあながわしそうばうだん 横浜市神奈川消防団	ごかせちょうしそうばうだん 五ヶ瀬町消防団
	かわさきしなかつしそうばうだん 川崎市高津消防団	かこしましそうばうだん 鹿児島市消防団
石川県	かわさきまちしそうばうだん 川北町消防団	おきなわしそうばうだん 沖縄市消防団
沖縄県	なこしそうばうだん 名護市消防団	なこしそうばうだん 名護市消防団
	いとまんしそうばうだん 糸満市消防団	うらそえしそうばうだん 浦添市消防団
	なかぐちなかやしそうばうみあいしそうばうだん 中城北中城消防組合消防団	なかぐちなかやしそうばうみあいしそうばうだん 中城北中城消防組合消防団

消防団PRムービーコンテストの結果

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室

住民の方々に、消防団をより身近なものとして知っていただくため、各都道府県及び市町村から作品を募集し、消防団PRムービーコンテストを実施しました。

応募された29作品から、最優秀賞、優秀賞を決定しました。

1 受賞作品

【最優秀賞】

尼崎市消防団(兵庫県) 「尼崎市消防団を紹介します。～PR動画を作ってみた～」

徳島市消防団(徳島県) 「あなたの笑顔が「ちから」になる。」

【優秀賞】

横浜市鶴見消防団(神奈川県) 「「父と一緒に地域を守りたい」横浜市鶴見消防団」

吹田市消防団(大阪府) 「吹田市消防団PR動画～二足のわらじで我がまちを守る～」

2 その他

「総務省消防庁動画チャンネル(YouTube)」及び「消防団オフィシャルウェブサイト(消防庁ホームページ内)」にて受賞作品を公開中。

最優秀賞

●尼崎市消防団(兵庫県) 「尼崎市消防団を紹介します。～PR動画を作ってみた～」



応募者による作品のみどころ

消防団の魅力を発信するため多くの方々にご協力いただきました。普段のお仕事の様子や出動シーンなど、迫力ある映像もお送りします。今年度創設された企画広報分団にインタビューし、様々な取組みなども紹介しています。将来を担う幼稚園児達も登場し、地域で協力して作り上げた手作りのPR動画となっています。

●徳島市消防団(徳島県) 「あなたの笑顔が「ちから」になる。」



応募者による作品のみどころ

地域の防火・防災のために日々活動している消防団員。そんな消防団員の「笑顔」は、とても素敵で周囲の人や地域にパワーを届けてくれます。

本動画では、徳島市で活動する4人の消防団員にフォーカスを当て、少しでも消防団の魅力が伝わるように思いを込めて制作しました。

ぜひ、ご覧ください。

消防団員のためのマイカー共済・保険を ぜひ活用ください

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室

地域に密着して活動する消防団員の方々は、災害時にやむを得ず、自家用自動車等で出動する場合があります。実際、令和元年東日本台風では、自家用自動車で出動した消防団員の方もおり、その結果、消防団員個人の車が災害被害にあってしまう事例もありました。

そこで、消防団員に個人的負担を生じさせることなく、安心して当該活動に従事してもらうことを目的として、消防団員向けの自動車損害共済事業、いわゆる、「消防団員のマイカー共済」が令和2年4月から開始されました。消防団員のマイカー共済は、全国市有物件災害共済会(市分)・全国自治協会(町村分)の自動車損害共済

制度のスキームを活用するもので、原則は1年単位の共済期間となります。1か月単位の短期加入も可能です。令和3年度からは、民間損害保険会社(損害保険ジャパン株式会社・三井住友海上火災保険株式会社)でも「消防団員のマイカー保険」の取扱いを開始しています。

これらの共済・保険に関して、市町村が負担する分担金・保険料の1/2に、特別交付税を措置しておりますので、消防団員・市町村職員の方々におかれましては、6月からの出水期に向けて、ぜひ、このマイカー共済・保険の活用を積極的にご検討ください。

消防団員のマイカー共済・保険について

1. 趣旨及び事業内容

近年の大きな災害の発生状況等を踏まえ、消防団員に安心して活動してもらうため、マイカーや対物・対人の損害を補償する共済制度を令和2年4月から開始。また、令和3年10月からは民間損害保険会社による補償も開始。

消防団マイカー共済とは、具体的には、災害時に急を要する消防団活動のために、非常勤の特別職地方公務員の身分を有する消防団員がやむを得ず、自家用自動車(原動機付自転車を含む)を使用した場合に、当該自家用自動車を市町村が相互に救済する事業。

2. 実施主体 公益社団法人全国市有物件災害共済会(市分)、一般財団法人全国自治協会(町村分)、民間損害保険会社

(例)消防団マイカー共済スキーム



3. 共済事業のポイント

- ・1ヶ月単位での加入が可能(例:出水期(6月~10月)の5ヶ月加入)。
- ・実施主体から支払われる共済金は、優先払い(消防団員が加入している民間の自動車保険の適用が不要)。
- ・災害に対処するために出動した際の分担金に対して、令和2年度から特別交付税措置(0.5)を講じている。

4. 保険事業のポイント

- ・契約期間は1年単位。
- ・団員個人が加入する自動車保険を適用するか、マイカー保険を適用するか選択可能。
- ・災害に対処するために出動した際の保険料に対して、令和3年度から特別交付税措置(0.5)を講じている。

5. 開始日 共済:令和2年4月1日、民間損害保険会社:令和3年10月以降

※マイカー共済またはマイカー保険にR4.3.1時点での加入済、またはR4年度以降に加入を予定している団体は64団体(共済14、民間50)

e-カレッジによる 防災・危機管理教育のお知らせ

総務省消防庁 防災課

消防庁では、いつでも、誰でも、インターネットを利用して、防災の知識や災害時の危機管理について簡単に学習することができる「防災・危機管理e-カレッジ(以下「本サイト」という。)」を運用しております。

本サイトでは、こども向け、一般の方向けのコンテンツを用意しており、こども向けのコンテンツでは、クイズ形式で災害に関する知識や身の守り方について、楽しみながら学ぶことができます。一般の方向けのコンテンツでは、近年の災害から教訓を学ぶコンテンツがあるほか、日々の備えや避難行動等を学べるコンテンツがあります。

令和5年3月には、こども向けのコンテンツとして、家や学校、通学路等で災害に遭遇した場合に取るべき行動等を学ぶことができる「そなえ」を新たに作成しました。「消太」とともにクイズを通して楽しく学ぶことができます。

また、一般の方向けのコンテンツでは、令和

3年7月に発生した静岡県熱海市土石流災害について学ぶことができる動画を作成しました。次の災害に備えて、災害発生の仕組みや身の守り方を学ぶことができます。その他にも、直近の法改正等を踏まえ、「避難」等に関する既存のコンテンツを更新しました。

大規模災害による被害の軽減を図るために、地域防災力の充実・強化、地域住民一人一人の危機管理・判断力の向上が重要です。災害への備えや災害時にとるべき行動を学習することができますので、本サイトを積極的に活用して、防災・危機管理に関する知識を身につけていただくとともに、学校等で行う防災関連の学習、教育等にも是非ご活用ください。

○ 防災・危機管理e-カレッジ
(消防庁HP)
<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/>



令和4年度 作成動画

The screenshot shows the e-college website with two main sections:

- こども向け (Child向け):** Features a module titled "NEW! 「そなえ」" (New! "Sona-e") which is a quiz for children about what to do in case of a disaster. It also includes a "こどもぼうさいランド" (Child Disaster Land) section with a "消太" character.
- 一般の方向け (General向け):** Features a module titled "NEW! 「令和3年7月静岡県熱海市土石流災害に学ぶ防災対策」" (New! Disaster Prevention Measures Learned from the July 2021 Landslide Disaster in Atami City, Shizuoka Prefecture). It includes sections on "避難" (Evacuation), "初期消火" (Initial Fire Fighting), and "救命処置" (First Aid).

A large cartoon character of a firefighter is at the bottom left, with a speech bubble saying "動画を視聴して、防災の知識を蓄得し災害に備えよう！！" (Watch the video to gain disaster prevention knowledge and be prepared for disasters!!).

令和5年度(第39回) 防火ポスターコンクール図案募集のお知らせ

(生協)全日本消防人共済会

生活協同組合全日本消防人共済会は、令和5年度の火災予防運動に配布する防火ポスター作成にあたり、全国の小学生・中学生から図案を募集いたします。

募集要項は下記のとおりです。たくさんのご応募をお待ちしております。

記

1 対象

全国の小学生(4年生以上)・中学生

2 応募規定

(1) 募集の趣旨

火災予防に対する意見や考えをポスターに表現した図画で、令和5年度全国統一防火標語「火を消して不安を消してつなぐ未来」をイメージした図案とします。(上記の標語は図案に記入しないでください。)

(2) 対象者

全国の小学生(4年生以上)・中学生

(3) 作品の形態

ア 各学校で使用する図画用紙(四切)、縦書きとします。

イ 図案は火災予防に関するものとし、未発表のもの(すでにポスター等で使用されたものは除く)に限ります。

ウ 採用作品には、防火標語を印刷させていただきますので、図案のみのデザインとしてください。

エ 作品の裏面には、都道府県名・市(区)町村名・学校名・学年・氏名(ふりがなを付してください。)を記載してください。

(4) 応募方法及び提出期限

在住する都道府県の消防協会(支部)へ問い合わせてください。ただし、すべての消防協会が募集事務を行っているものではないことを予めご承知願います。また、当共済会への直接応募はご遠慮願います。

(5) 表彰等

入賞者(佳作以上)には、次の区分に応じて表彰状及び記念品を贈呈します。

① 最優秀賞 1名(5万円相当の記念品を贈呈)

※ 最優秀賞受賞者の在籍する学校には、10万円相当の記念品を贈呈します。

また、最優秀賞受賞者、保護者1名、学校関係者1名を令和5年12月下旬に全日本消防人共済会(東京都港区)で開催の表彰式にご招待いたします。

② 優秀賞 2名(2万円相当の記念品を贈呈)

③ 佳作 若干名(5千円相当の記念品を贈呈)

④ 参加賞 当共済会で審査対象となった入賞者以外の作品のみとします(記念品を贈呈)。

(6) 発表

令和5年9月下旬頃、本人に連絡するとともに、全日本消防人共済会ホームページ及び(公財)日本消防協会機関誌「日本消防」に掲載します。

(URL <http://www.shouboujin.or.jp>)

3 その他

(1) 当共済会に推薦された作品は、審査後に返却します。

(2) 防火ポスターの各支部への返送は、令和5年10月中旬頃の予定です。

(3) 詳細につきましては、全日本消防人共済会ホームページをご確認ください。

令和5年度(第23回)「防火防災に関する」作文コンクール作品募集のお知らせ

(生協)全日本消防人共済会

生活協同組合全日本消防人共済会の主催による令和5年度(第23回)全国中学生「防火防災に関する」作文コンクールの作品を募集します。

募集要項は下記のとおりですので、たくさんのご応募をお待ちしております。

記

1 対象

全国の中学生

2 作文のテーマ

「消防団、明るく元気な地域とともに」 (※作文のタイトルは自由とします。)

3 応募規定

(1) 募集の趣旨

災害からわたしたちの暮らしを守り、安全で住みよいまちづくりのため、地域に密着した活動を行っている消防団について、中学生の視点で表現された作文を募集いたします。

(2) 応募用紙等

ア 400字詰め原稿用紙を使用して800字以上1200字以内(学校名や名前は文字数に含めません。)

イ 自作で未発表のものに限ります。

(3) 応募方法及び提出期限

在住する各都道府県の消防協会(支部)へ問い合わせてください。ただし、すべての消防協会が募集事務を行っているものではないことを予めご了承願います。また、当共済会への直接応募はご遠慮願います。

(4) 表彰等

入賞者(佳作以上)には、次の区分に応じて表彰状及び記念品を贈呈します。

① 最優秀賞 1名 (5万円相当の記念品を贈呈)

※ 最優秀賞受賞者の在籍する学校には、10万円相当の記念品を贈呈します。

また、最優秀賞受賞者、保護者1名、学校関係者1名を令和5年12月下旬に全日本消防人共済会(東京都港区)で開催の表彰式にご招待いたします。

② 優秀賞 2名 (2万円相当の記念品を贈呈)

③ 佳作 若干名 (5千円相当の記念品を贈呈)

④ 参加賞 当共済会で審査対象となった入賞者以外の作品のみとします(記念品を贈呈)。

(5) 発表

令和5年10月下旬頃、本人に通知するとともに、全日本消防人共済会ホームページ及び(公財)日本消防協会機関誌「日本消防」に掲載いたします。

(URL <http://www.shouboujin.or.jp>)

4 その他

(1) 当共済会に提出された作文は、返却しません。

(2) 詳細につきましては、全日本消防人共済会ホームページをご確認ください。

全日本消防人共済会は、皆様の安心を守るため、
素早い補償実施に心掛けますと共に、
火災予防事業に率先して取り組みます。



うちの

名物団員



柏崎市消防団 第7分団 団員

丸山 隆史

柏崎市消防団からは、丸山隆史さんを紹介します。丸山さんは団員歴13年10ヶ月、平成27年度新潟県消防大会ポンプ操法には当地区代表の1番員として出場し、好成績を収めたスペシャリストです。一方、2006年の転職を機に本格的にキノコ研究を始め、2015、2016年と次々に絶滅危惧種を県内で発見、2021年には日本菌学会に論文を発表して、新産種「ミツヒダニオイカレバタケ」の和名が認められるという学術分野でもその活躍が著しい、我が柏崎市消防団が誇るインテリジェント団員です。

新潟県



山梨市消防団 岩手分団 分団長

窪田 紀彦

山梨市消防団からは、岩手分団の窪田分団長を紹介します。

窪田分団長は28年に渡り消防団員として活躍する一方、さくらんぼ農園である「窪田農園」を経営しています。

さくらんぼ狩りのシーズンになると、県内外から多くの観光客が訪れ、今では人気の観光スポットとなっています。山梨市に観光の際はぜひ訪れてみてください。

山梨県



新城市消防団 東郷分団 団員

福田 卓也

地元県立高校を卒業後、隣接県の国立大学工学部へ進学。大学では機械工学を専攻し、卒業後は隣接市のメーカーに技術者として就職。

技術者としての経験を積む傍ら、得意の運転技術を活かし自社で開発した車両のテストドライバーとしても活躍、さらには得意の語学力を活かし海外出張で通訳としても活躍し、開発技術者兼テストドライバー兼通訳と一人三役を担う。(出張先はUK、USAなど、年間渡航期間は延べ2か月ほど。)

余暇はラリーに勤しみ、ドライバーとして、ドライバーだけでなく本業を活かして競技車両の作成・整備も兼ね、大会に出場している。JAF中部近畿ラリー選手権で年間チャンピオンの実績を持ち、余暇の域を越えた活躍を見せてている。

仕事に趣味に多忙な生活を送り、実家の田んぼを守りながら、消防団員として地域の安全安心を守っている。

美郷町消防団 かずぶち 細淵分団 団員

熊谷 勉

美郷町消防団からは最年長の団員さんを紹介します。

熊谷さんは現在71歳で美郷町消防団最高齢の団員さんです。県内外からお客様が訪れる温泉「湯抱温泉」が楽しめる中村旅館をご家族で経営する傍ら、45年ものあいだ消防団活動に携わっています。美肌効果の高い成分を含んだ温泉に癒され地元の食材を使った料理を楽しめる旅館は訪れるお客様を満足させてくれます。そしてなによりも熊谷さん的人柄に癒されること間違いないです。消防団活動でもその人柄から地域の人だけでなく、多くの団員さんからも慕われています。今後も健康第一で更なるご活躍を期待しています。



神石高原町消防団 副団長

佐藤 仁史

神石高原町消防団から佐藤仁史副団長を紹介します。県指導員などの要職を歴任する団員歴41年の大ベテランですが、常に新しいことにチャレンジする姿勢と明るい人柄で組織を盛り立ててくれています。最近は、ドローンを防災・消防の観点から実践に活かすべく研究会を創設し、会長として、仲間とともに訓練に励み、行方不明者の捜索や火事現場跡の撮影など活躍の場をさらに広げておられます。

今後も消防団の可能性を広げる取組みに、全力で取り組んでいかれることを期待しています。



熊本市消防団 第47分団 班長

古川 久仁子



熊本市消防団第47分団女性班の古川久仁子班長を紹介します。

古川班長は令和4年4月、女性12名の仲間と共に入団されました。令和2年に立ち上げた子供食堂まんまと女性消防のコラボで、高齢者の方へお弁当の配達をしながら、防火啓発や見守りをされています。

いつもメンバーみなさんと楽しそうに笑顔で活動されているのが印象的です。



神石高原町消防団
団長

藤田 誠之



神石高原町消防団は平成16年の町村合併に伴い発足し、4つの方面隊とそれを構成する7つの分団が中心となって火災等有事の対応や各種訓練を行っています。

町の人口は8,220人（令和5年2月1日時点）、全人口比約7.3%の601人の団員が所属しており、過疎化が進む中山間地の中で、常備消防だけではカバーできない部分を補いながら、地域からの声に応えるべく、日々活動に励んでいます。

今回は、これまで行ってきた数ある事業の中で特に次世代とのつながりを象徴する内容を紹介いたします。

それは、町内の中学校から、町をより深く知る機会を設けて欲しいとの声に応えて参加した、「ほんまもん体験」と称した中学生たちとの交流です。



団員に補助してもらいながら、筒先で放水体験

仕事や町に対する大人たちの熱い思いを聞かせて欲しいという中学校からの要望に、農林業や各種製造業、ドローンの操縦士養成学校の運営者など各業界のプロフェッショナルに混じり、現役消防団員が小型ポンプを使った操法の展示や中学生とともに放水や規律訓練を行うなどの交流を図りました。

筒先やホース、小型ポンプなどの資機材に実際に触れて動かすことで、中学生のみなさんに消防団が普段どんな活動をしているかを知ってもらう機会を設けることができたとともに、町の将来を担う人材とのつながりをより深めることができたと感じています。

今後も、より一層消防団の必要性とともにその魅力を多くの町民に理解してもらえるよう、訓練や諸活動に取り組んでまいります。



団員の手ほどきを受けながら、中学生がホースを展張



小型ポンプの仕組みを団員から教えてもらう中学生

2023年度 全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和5年6月の日本消防協会関係行事

- 9日(金) 消防育英会奨学生選考委員会
15日(木) CTIF総会(オーストリア)
19日(月) 消防育英会定時評議員会
21日(水) 日本消防会館建設運営委員会、全日本消防人共済会理事会、正副会長会議
22日(木) 日本消防協会臨時理事会、日本消防協会定時評議員会、全日本消防人共済会総代会
28日(水) 全国消防殉職者遺族会監事監査
29日(木)・30日(金) 第25回全国女性消防操法大会第1回指導員研修会

編集後記

コロナも5類へと変更され、徐々にですが以前の様な生活へと戻りつつ、日消の行事も以前の賑わいを取り戻してきたと感じるこの頃です。4月から来た研修生たちも、しばらく開催されていない事業を過去から調べ、社会情勢の変化した今日の状況に合わせてリメイクするのに懸命になって邁進しています。

令和元年以来の開催となる第25回全国女性消防操法大会に向け、いよいよ準備を本格的にスタートして全国の女性消防団員たちも活気づいてきた頃ではないでしょうか。今年は、激励交流会も開催を予定しており、情報交換や地域交流の貴重な場として素敵な出会いがたくさんありますようにと祈るばかりです。

・・・「地元へ帰られた研修生の皆さん、秋本会長張りにパワーアップして頑張っておられますでしょうか。(笑)(T.M)

今般の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が、5月8日(月)から感染症法上「5類感染症」に移行され、発生確認以来3年余りしてようやく一つの大きな節目を迎きました。ただ、国においては、無償ワクチン接種をはじめ今後も一定の感染拡大が生じることも想定されているわけで、少なくとも今年度一杯は常に頭に置き意識し続けるといけないといけないとは思います。

ちなみに、毎月の当誌の編集打ち合わせもこれを機にパーテーションなし(当面マスクは着用)です。(Y.T)

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,496円
(問合せ先) 総務部企画担当 03-6263-9401

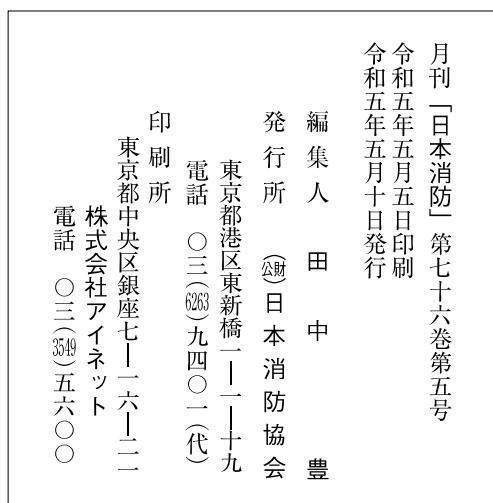
寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受け付けしています。 kikou@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第七十六巻第五号
令和五年五月五日印刷
令和五年五月十日発行

編集人 田中 豊
発行所 (公財)日本消防協会
印刷所 東京都港区東新橋一丁目十九
電話 ○三(363)九四〇一(代)
株式会社アイネット
電話 ○三(3549)五六〇〇



令和五年五月十日行
消防行

日本消防

第七十六卷第五号

消防人の 火災共済

地震等災害見舞金 もあります

消防団員
消防職員
ならどなたでも
加入できます

掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損)
火災共済金375万円のお支払い **1500倍補償**

B型火災共済 消防団 消防本部 毎に皆で加入

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。
落雷の損害
にも対応!! 建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部(消防協会)へ。

お支払対象

- 火災共済金 火災・落雷・爆発・破裂
- 風水雪害等共済金 火災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等
- 地震等災害見舞金 地震・津波・噴火

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-6263-9822
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>



消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率(年1.25%)、配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万元(ゆうちょ
銀行は五千円)から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金(6種類)又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金(脱退一時金)
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

(パンフレット・加入申込書のお取り寄せ、お問い合わせ先)
公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494 平日 9:00~17:00

お問い合わせ先

各市町村の消防事務担当者または消防本部消防団事務担当者、都道府県消防協会

(公財)日本消防協会

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19

ヤクルト本社ビル内

TEL.(03)6263-9401 (代表)

[https://www.nissho.or.jp](http://www.nissho.or.jp)